

「一緒にあそぼう」

地域の方から 簡単な囲碁のあそび方を教えてもらうことが出来た5歳児の子どもたち。



地域の公民館で、使われなくなった囲碁セットも、保育所にいたたくことが出来、みんな大喜びです。



あそびのおもしろさに気づききっかけを作って下さった地域の方に感謝するとともに、好きなあそびを通して友だちとのかかわりが深まるよう援助していきたいと思っています。

「やってみよう」

公民館祭りに向けて、たいこの練習をしている5歳児の姿を、3歳児の子どもたちが、じーっと見つめていました。



練習を終えた5歳児が保育室に戻っていくと、たいこの周りに3歳児の子どもたちが集まってきました。



5歳児の子どもたちと同じようにポーズを決めたり、たいこのバチを手に、トントコトントコとたいこをたたく子どもたちの表情は活気に満ちていました。



たいこの後は、鳴子にもお挑戦。5歳児の子どもたちを真似てみようとする3歳児の子どもたちの熱い思いが伝わってくる出来事でした。



大きい子へのあこがれの気持ちが、新たな意欲につながっていくよう、援助していきたいと思っています。